

各地のなくす会 全国総会成功へ 暑さにもめげず署名・宣伝行動

各県・各地域のなくす会では、9月29日(土)の全国総会成功めざして、猛暑の中も「増税阻止に向けて共同を」と、宣伝・署名行動や読者・会員の拡大に取り組んでいます。

今の政治変えて消費税増税中止させようと 共同宣伝 6月25日 富山県の会



富山県の会と消費税廃止富山県各界連は、富山市総曲輪商店街で消費税10%増税に反対する宣伝を行い、署名への協力を呼びかけました。富山市羽根の女子高校生(15)は同級生と一緒に署名に応じ、「消費税は、収入の少ない人の負担が多く不公平です。絶対に増税はダメです」と語りました。

「年金からあれこれ引かれて、生活できない」 福島県の会

6月25日JR福島駅前で消費税10%中止と5%に戻せの宣伝・署名行動をしました。服部雅事務局長が「今やるべきことは、増税ではなく5%に減税することです」と訴えると、署名した70代の女性は「本当に生活できない。消費税が10%に上がったらますます大変。かげながら応援しています」と。別の女性は「安倍政権が悪いのよ！安倍さんに反対する署名があるならしていくわ」と怒りのペンをはしらせました。



消費税なくす全国の会
第29回総会
9月29日(土)
午前11時～午後4時30分
(会場) 平和と労働センター
(全労連会館)

消費税を上げて景気が悪くなるばかり 恒例の商店街訪問活動 埼玉の会

6月14日、新常任世話人の安部里美さんが住む、ふじみの市の東武線土曜線土曜線土曜線土曜線土曜線の商店街を訪問しました。行動には、地元共産党市議の床井紀範さんと地元の安部幸子さん、常任世話人の安部里美、大嶋秀夫、永塚友啓が参加。不動産屋さんは「うちは消費税を払っていない。しかし最近では新築がなくアパートや家賃で成り立っている。10%になればあらゆる物が高くなり、アパートの建て替えの時には大きな負担になる」と。製麺屋さんは「10%はやめてもらいたい。上がったなら経費を節約するしかないが、3度目の延期を期待している。この商店街は店が以前の半分以下に減っている」と署名に応じてくれました。ふじみの市商工会も訪問。事務局長の忍田敏昭さんが丁寧に対応してくれました。「消費税は大きな影響になる。対応を検討している。商工会として、創業支援や空き店舗対策などを行っている。行政には伴走支援をお願いしたい」と、営業を継続的に支援する対策を期待していると述べました。

会を紹介する新リーフができました。
『こんにちは！消費税をなくす会です』
一部5円です。(送料別)

